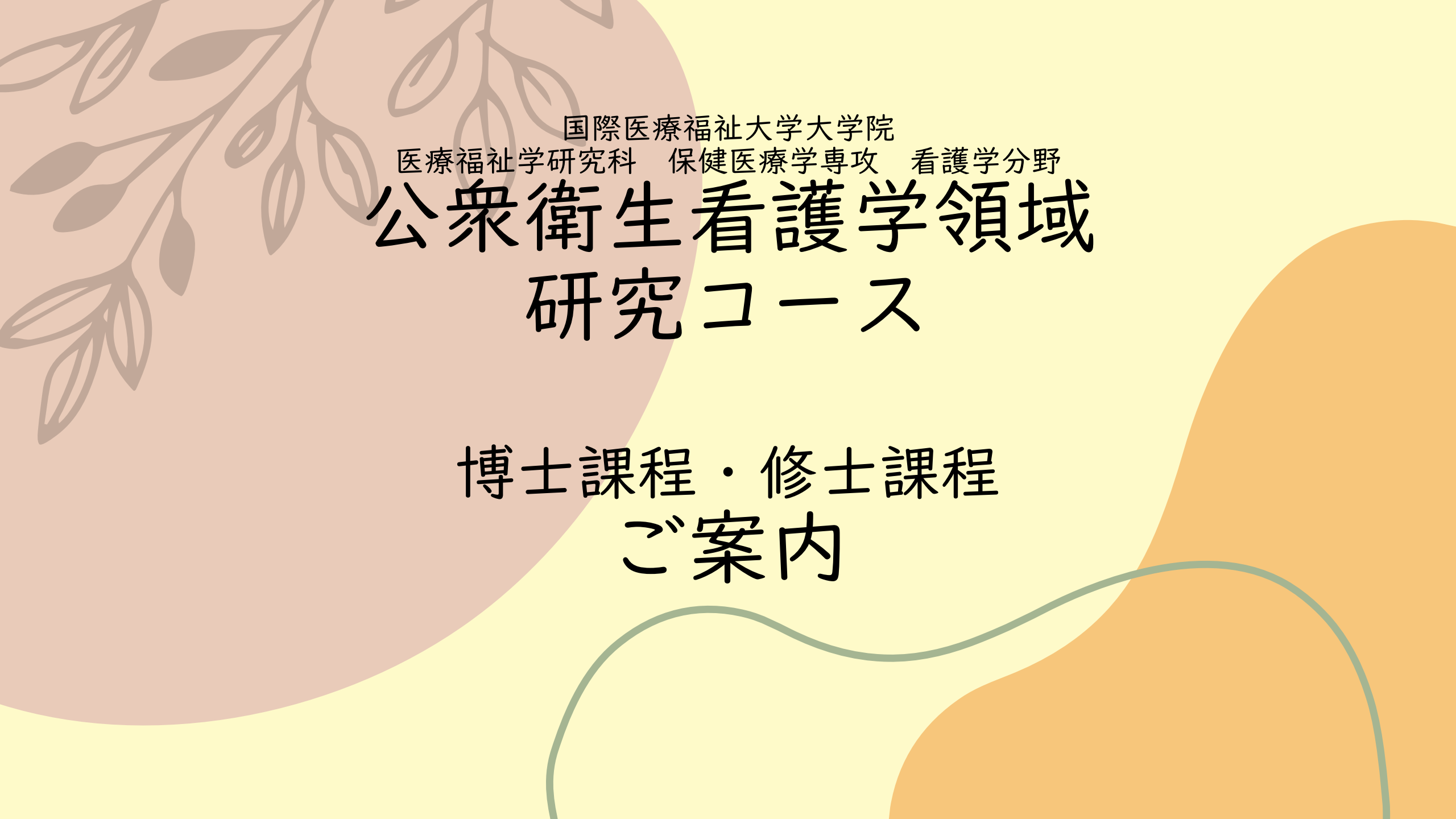




国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究科 保健医療学専攻 看護学分野

公衆衛生看護学領域 研究コース

博士課程・修士課程
ご案内



公衆衛生看護学とは

公衆衛生看護学の定義

公衆衛生看護学とは：公衆衛生看護実践の向上に寄与する知識、技術、規範並びに理論の生成やその発展について考究する学問です。

公衆衛生看護とは

- 公衆衛生看護は、社会的公正を活動の規範において、
- 社会がどのように変化しても、その時、その場、そこにいる人々の健康事象を、根拠に基づいて明確化あるいは予測し、
- 公衆衛生の向上をめざし、あらゆる人と環境に果敢に働きかける活動です。

• 公衆衛生看護の対象：

あらゆるライフステージにある、すべての健康レベルの個人と家族、およびその人々が生活し活動する集団、組織、地域などのコミュニティ

• 公衆衛生看護の目的：

自らの健康やQOLを維持・改善する能力の向上および対象を取り巻く環境の改善を支援することにより、健康の保持増進、健康障害の予防と回復を促進し、もって人々の生命の延伸、社会の安寧に寄与することです



公衆衛生看護の ニーズの高まり

- ・ 少子高齢社会によるコミュニティ再生
- ・ 頻発する自然災害や感染症パンデミックによる健康危機
- ・ 健康寿命の延伸をめざした生活習慣病の予防の重点化

などが期待されている

今後の公衆衛生 看護のあり方

- ・ 公衆衛生看護活動を推進していくにあたり、公衆衛生看護学教育のあり方検討を進めていく必要があります

公衆衛生看護学領域 研究コース 修士課程・博士課程



研究コースでは、公衆衛生看護学の発展に寄与できるように
院生の持つ研究課題に応じた研究指導を行っています

【研究テーマ】 (修了生の研究テーマから)

- 地域アセスメントに関する研究
- 保健行動の変容に関する研究
- 公衆衛生看護学の基礎教育に関する研究
- 保健師現任教育に関する研究
- 自然災害時の健康危機対応に関する研究
- 感染症災害時の健康危機対応に関する研究
- 健康危機管理に関する支援人材の育成
- 在留外国人への支援に関する研究
- 訪問看護師に求められるコンピテンシーに関する研究



指導教員の紹介



修士・博士課程

野呂 千鶴子

教授・東京赤坂キャンパス



嶋津 多恵子

教授・東京赤坂キャンパス



- ①生活環境特性と看護
- ②自然災害による生活環境の変化と健康
- ③保健師の集団特性
- ④保健活動の評価

- ①公衆衛生看護
- ②地域看護
- ③保健師の人材育成
- ④地域保健活動
- ⑤地域づくり
- ⑥精神保健福祉
- ⑦親子保健

修士・博士課程

山谷 麻由美

准教授・東京赤坂キャンパス



- ①地域保健活動における「地域づくり」
- ②ケースメソッドによる学習
- ③住民や関係機関との協働のまちづくり

修士課程

家入 香代

教授・大田原キャンパス



- ①公衆衛生看護の現場における効果的な実践と人材育成
- ②子ども虐待に係る関連職種・機関との連携

研究ゼミの紹介

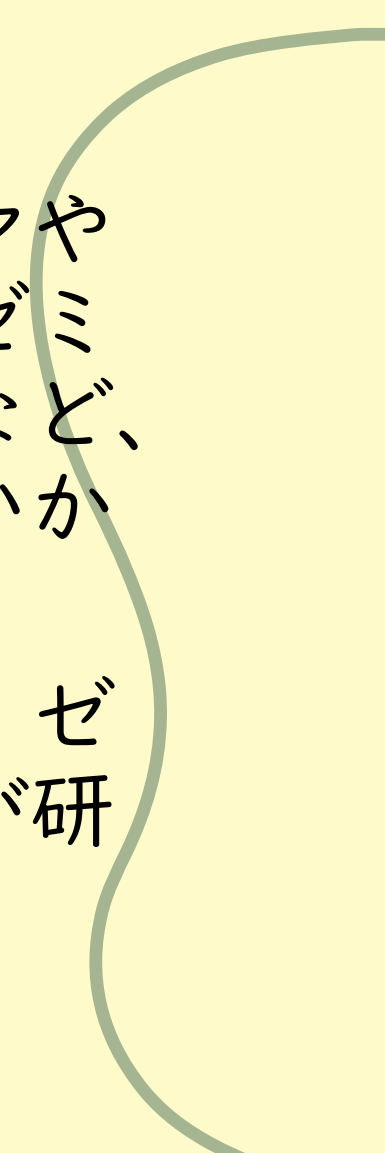


研究ゼミの進め方

- ◆それぞれの教員が担当ゼミを月2回程度開催しています。
- ◆ゼミは、修士・博士課程生合同開催やそれぞれの課程別に開催したりしています（詳しくは担当教員にお問い合わせください。）
- ◆ゼミでは、院生が、自分の研究テーマにそった課題を持ち寄り、ディスカッションします。
- ◆論文執筆や報告会の前、分析作業中には、適宜個別指導も行っています。



ゼミの効果を 高めるために

- ①ゼミ生がお互いの研究テーマや進捗状況を共有しており、ゼミ開催日以外でも相談し合うなど、グループダイナミックスをいかしたゼミを進めています。
 - ②理論や分析方法の勉強会も、ゼミとは別に実施し、お互いが研鑽を積んでいます。
- 

研究ゼミの様子

(例えば：野呂ゼミ)



オンラインゼミ (Teams)

主に平日の夜に開催しています。
みんな仕事終わりに、頑張っています！！



対面ゼミ (東京赤坂キャンパス)

主に土曜日に開催しています。
昼食持参で、一日かけてディスカッションしています